

春日市  
地域活動  
指導員だより

No.102

2015.9.15

# いん

地域の未来へつなぐ活動情報紙

発行：春日市教育委員会  
社会教育課

TEL 092-575-4121

FAX 092-593-7380

地域で子どもを育てる活動情報をお寄せください(イベント予告可)地域活動指導員が取材に伺います。



## 楽しかった夏の思い出



長い夏休みも終わり、真っ黒に日焼けした子どもたちもようやく日常の生活に慣れてきた頃だと思えます。夏休み期間中は、各地区でさまざまなイベントが行われ、地域に子どもたちの元気な声が響きわたり明るく活気づいていました。夏休みならではの地域行事や子ども会行事等に参加することで、たくさんの人とふれあい、自分たちが住んでいる地域のよさを知る良い機会となりました。

かすがくんとあすかちゃんが  
夏祭りに遊びにきたよ!!



地区夏祭りにかすがくんとあすかちゃんが遊びに行きました。

各会場では、たくさんのお店が出店され、盆踊りやステージでの催しもの、子どもみこしの「ワッショイ!!」の声で大変賑わっていました。

かすがくん・あすかちゃんが会場に現れると、たくさん子どもたちが集って来てくれ、みんなとふれあうことができた2人は、とても楽しかったようです。

## 夏祭りみこし作り



須玖南公民館

7/11(土)に須玖南地区公民館で、夏祭りのためのみこし作りが行われました。

40名以上の子どもたちが参加し、彩りきれいなみこしが完成!

夏祭り当日は、子どもみこしがまちを練り歩き、祭りがより一層活気づきました。

## 子ども魚とり大会



桜ヶ丘公民館

7/19(日)に桜ヶ丘地区自治会で魚とり大会が行われました。ブルーシートで作った特設プールに500匹のヤマメが放たれ、参加した約110名の子どもたちは、ヤマメのつかみ捕りに挑戦しました。捕った魚をその場で焼いてもらい、普段はあまり魚を食べない子どもたちも頭から豪快に食べていました。

# アンビシャス広場紹介

## 春日原アンビシャス広場



7/18(土)春日原公民館で行われた夏休み陶芸教室。夏休みの恒例行事で、参加受付開始1時間で定員に達するほど人気の体験活動です。

春日市内で活動している陶芸クラブの方々に指導をお願いし、子ども会育成会役員や自治会関係者がサポート役として子どもたちの見守りを行っています。

子どもたちは焼き上がりを想像しながら真剣に取り組み、子どもらしい自由な発想で個性あふれる作品を作り上げていました。

春日原地区では「地域の子どもは、地域で育てる」という思いで、地域の方たちが子どもたちの様々な体験活動に積極的に携わっています。

## 春日小学校アンビシャス広場



8/4(火)絵本の読み聞かせと語りがおこなわれました。

部屋のカーテンを閉め、電気を消し、一本のろうそくの灯りがともる中、先生が子どもたちの顔を見ながら、ゆっくりとした口調で語りかけます。参加した子どもたちは低学年が中心でしたが、飽きることなく最後まで集中して聞き入っていました。

『語り』は、暗記した物語を聞かせるもので、絵本を使わないため耳から入ったお話に、より一層想像がふくらみ、物語の中に引き込まれていきます。

物語に入り込み聞き入っている子どもの表情は豊かでおもしろいですよとお話されていました。

手づくりのパペットなども使って、子どもたちに本の世界の楽しさを伝えてくださいました。

長野先生の優しい語りは、心癒され本を好きになるきっかけになりそうです。

## 上白水アンビシャス広場



上白水アンビシャス広場では今年度から「五色百人一首」の活動を始めました。「五色百人一首」は「小倉百人一首」を五つのグループに色分けし、小学生でも楽しめるよう工夫されたものです。

指導をされている川崎さんが札を詠む声に合わせて、瞬時に札を取る子もいれば、目の前にある札に気付かず、一生懸命に札を探す子もいます。取りたかった札が取れず、悔しがる姿も見られますが、みんな楽しみながら活動しています。

広場の方とお話する中で、「最初は集団になじめなかった子が、今では積極的に活動しています。そんな子どもの成長していく姿を見ることが、アンビシャス広場活動に携わる人にとって何よりも嬉しいことです。」という言葉聞き、子どもの育ちを支える地域の力を感じました。

# かすが家庭教育学級

## 夏休み親子de参加講座



かすが家庭教育学級では、夏休みの企画として親子で学べる講座を開催しました。親子で体を動かしながら絆を深める「ボディパーカッションでリズム遊び」では、高齢者学級の学級生も参加し、世代間交流もできました。

陶芸では、手びねりでユーモアあふれるシーサーづくり。また、夏休みの思い出の写真を楽しくまとめるスクラップブックづくりなど、親子や学級生同士で笑顔の時間を過ごしました。

7 / 23  
(木)



ボディパーカッション

8 / 5  
(水)



シーサーづくり

8 / 21  
(金)



スクラップブックづくり



## 夏のふれあい体験王国

8月2日(日)ふれあい文化センターで「夏のふれあい体験王国」を開催しました。

恒例の竹細工や紙細工、バルーンアート、箸りんぴっくに加え、今回は昔あそび体験コーナーを設け、親子約300名が参加しました。コマまわしやけん玉をできるようになるまで、何度も挑戦する親子の姿や竹ぼっくり作りに夢中になるお父さんの姿などが見られ、親子でふれあう素敵なひとときとなりました。



## 出前トーク「市長と語る」 ～小中学生対象～

8/18(火)若葉台西公民館にて、小中学生対象の出前トーク「市長と語る」が開催されました。

日本人は外国人に比べ自分の意見を発言することが苦手ですが、これからは、自分の意見をしっかりと述べる力を身につける必要があります。また、失敗してもくじけない強いメンタルを持ち、実社会で負けない人になってほしいという思いで企画されました。

小中学生は、緊張しながらも学校や地域等の身のまわりで疑問に感じていることを質問し、市長または、各担当所管からの回答にしっかり耳を傾けていました。

自分の意見をしっかりとまとめて発言する姿に、これからの春日市を支える若い力を感じました。



若葉台西公民館

## 春日市六中・生徒会サミット 8/19(水) ふれあい文化センターサホール

昨年12月に開催された六中サミットの研修会では、各学校で生徒会役員になったばかりの約120人が講座を受け交流しながらリーダーシップやプレゼンテーションについて学びました。

その後8ヶ月間、学校をより良くするために掲げたテーマに沿って取り組み、その活動と成果を披露しました。

当日は、各学校の発表に対して、質疑応答が行われ、他の5校の生徒会役員からだされた質問に、堂々と応える姿に頼もしさや成長を感じました。



六中サミット実践発表会の様子

息子さんが小学生の頃、スポーツ少年団の父母会会長を務めたことをきっかけに、さまざまな青少年健全育成活動に携わるようになり、現在は、「春日市青少年育成市民会議」の副会長として活躍されています。

先日、春日市青少年育成市民会議主催で、市内6校の中学校生徒会による「六中サミット実践発表会」が行われました。学校をより良くするために熱い思いで活動に取り組み、その成果を発表している中学生の姿は、とても輝いていました。このような素晴らしい活動が行えるのは、藤田さんのような影で支える力があってこそだと思います。藤田さんを突き動かす原動力は何ですか？と尋ねたところ、「子どもたちと時間を共有し、成長を近くで見ることが私の喜びです。将来、この子どもたちが、自分が育った地域で活躍する存在になってくれると嬉しいです。」

と、お話されていました。

趣味はお菓子作りと料理で、腕前はプロ級です。

子どもたちを思い、さりげなく寄り添う藤田さんのような存在が、子どもたちの成長を支える力になっていると感じました。

## ★ キラリ春日の人 ★

★ 春日市青少年育成市民会議  
副会長 藤田 忍 さん ★

